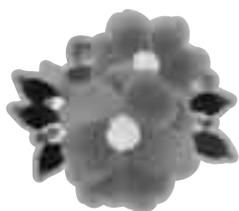
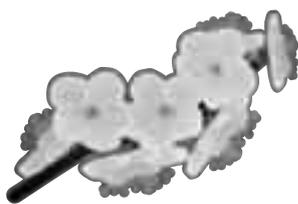




花のマークが行き先の目印に



サザンカは津富浦ルート



梅は豊住ルート



コスモスはしもふさ循環ルート

3ルートの運行に 新車両を導入

コミュニティバス

豊住・しもふさ・津富浦の各ルートを走行するコミュニティバスに新しい車両が導入され、その運行に先立つ3月28日、市役所前で出発式が行われました。バスの車体には、豊住ルートは梅、しもふさ循環ルートはコスモス、津富浦ルートはサザンカのマークがそれぞれあしらわれ、市民の足として市内各ルートを走ります。

動物愛護教室

犬とふれあいながら 命の大切さを学ぶ

小雨のばらついた3月17日、吾妻小学校体育館で子どもセンター主催の動物愛護教室が開催されました。これは子どもたちに命の大切さを学んでもらおうと、県動物愛護センターの協力により行われたもので、当日は小学生の親子など33人が参加。可愛い犬たちと楽しくふれあいながら正しい接し方やしつけなどを学ぶ一方、捨てられた動物たちがたくさん処分されているという悲しい現実に参加者は真剣に耳を傾けていました。



人間と犬の心音は違うかな？



実際に犬と散歩する練習も

ニュータウン5地区ふれ愛お花見会

春の息吹を感じながら



終始にぎわいが絶えない会場

吾妻、加良部、橋賀台、玉造、中台のニュータウン5地区の親睦を深め合う第16回ふれ愛お花見会(共催：各地区社会福祉協議会)が3月24日、保健福祉館で行われました。約180人が集まった会場は、琴の演奏や参加者自身も踊りの輪に加わった阿波踊りなどを通して次第に和やかな雰囲気。桜の花がほころび始めた季節、思い思いの会話に花が咲いていました。

熱心に話を聞く参加者



南羽鳥花輪内遺跡現地説明会 縄文時代のむらの 様子が明らかに

南羽鳥地区の区民会館建設に伴い発掘調査が進められていた南羽鳥花輪内遺跡の現地説明会が3月17日に行われました。遺跡からは、縄文時代中期から後期(約4000〜3000年前)の住居跡、「地下式坑」と呼ばれる中世の貯蔵庫や火葬施設などが確認され、訪れた約200人は形や深さが異なる大小の穴の使用目的などについて盛んに質問していました。また、出土した土器や石器なども展示され、参加者たちはこれらを手に取りながら当時の暮らしに思いを巡らせていました。



この土器は何に使われたのかな？

シルバーいきいきフェスティバル

明るく元気に生き生きと

老人福祉センターを拠点に活動しているサークルが一堂に会して、日ごろの成果を発表する「シルバーいきいきフェスティバル」が3月10日、保健福祉館で行われました。多目的ホールで行われた発表の部では、色鮮やかな衣装を身にまとった出演者が生き生きとしたダンスや楽器の演奏を披露。ホール内を埋めた観客から大きな拍手が送られていました。また、サークルの皆さんが作成した絵や書道などの展示、茶道の実演などもあり、会場内は1日中、にぎわいを見せていました。



元気にダンスを踊る出演者の皆さん



素早くボールの下に回りこんでトス

ナイスレシーブ

下総地区青少年健全育成協議会事業

小学生と中学生が バレーボールで交流

市内では数少ない小学生のバレーボールクラブ・下総ドルフィンズと下総中学校女子バレー部との交流会が3月31日、下総中体育館で行われました。この交流会は旧下総町のバレーボール連盟がさまざまな世代間の交流を図ろうと約10年前から始めたもの。中学生と小学生が組みになって、時折「こんな風に」と身振りを交えながら基礎練習を行いました。最後に試合が行われ、小学生たちがお姉さんたちの強烈なサーブやスパイクを懸命に拾い上げる姿に、応援の親たちから「頑張れ！」と大きな声が飛んでいました。